



南九州市

議会だより

—MINAMIKYUSHUCITY—

第52号

令和2年
11月5日



祝 創立 140 周年記念

南九州市立霜出小学校
令和2年9月20日撮影

「霜出小学校運動会」

【目次】

9月補正予算	P2
条例・人事案件等	P5
一般質問	P6

令和元年度決算認定	P14
常任委員・議会運営委員の変更	P16

9月定例会 コロナ 対策の拡充

一般会計補正額
14億5999万円
補正後予算総額
282億5646万円

学校施設整備事業費(コロナ対策)

6,809万円



知覧中体育館



大型循環送風機

感染症予防のため、市内小中学校 21 校の体育館に大型循環送風機、扇風機材の配置、3 中学校の特別教室に空調設置工事を行うもの。

3密・熱中症及び換気対策

平和会館管理費(コロナ対策)

613万円



非接触で入館者の体温を検知するシステムを導入するもの。

問 現在の対策状況とシステム導入後の対応は。

答 現在は、自己申告により体温等を健康チェックシートに記入し対策を行っている。導入後は、一度に多くの入館者の体温を検知でき、正確で迅速な対応が可能となる。

体表面温度検知システムの導入

9月定例会は、9月1日から29日までの29日間の会期で開催されました。
補正予算をはじめ、令和元年度決算、条例の一部改正などを審議し、議案等23件を可決、認定しました。

茶給食事業費(コロナ対策)

2,209万円

小中学校の児童生徒に対し、水筒用のお茶パックの配布、冷・温茶が飲める給茶機 28 台を購入するもの。

問 給茶機の管理は。

答 これまでの給茶機は、リーフ茶対応であったが、今回設置する給茶機は粉碎茶を使用するもので茶殻がでないため、管理は軽減される。



お茶をたくさん
飲むっちゃ!

給茶機、パック茶購入

教育振興費(コロナ対策)

994万円

コロナ禍により修学旅行時にキャンセル料が生じた場合、保護者の負担軽減を図るため、補償を行うもの。



本市を訪れた修学旅行生

修学旅行時のキャンセル料補償

環境衛生費(コロナ対策)

73万円

新型コロナウイルスに係る消毒作業用具を購入するもの。

問 購入する具体的な用具等は。

答 消毒液、防護服、ゴーグル等消耗品、背負い式噴霧器 6 台を購入する。



消毒作業用具一式購入

児童福祉総務費(コロナ対策)

2,020万円

特別定額給付金の対象とならなかった令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生した新生児1人に対し10万円を給付するもの。

問 対象者数について、人口ビジョンを基に計上しているが、近年の出生者の状況は考慮したのか。

答 過去3年間の出生祝金の支給状況も参考にしている。



新生児特別定額給付金

条例の一部改正(原案可決)

- ・南九州市手数料条例
- ・南九州市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例
- ・南九州市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- ・南九州市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

議案審議

議案第63号 財産の処分について

旧別府中学校財産処分に伴い、当該建物等の活用が見込まれる社会福祉法人更生会へ譲渡しようとするもの。

- ・土地 有償
- ・建物 無償譲渡
(付属施設及び備品を含む)

- ・処分予定年月日
令和3年3月31日
- ・処分の相手方
社会福祉法人 更生会(額娃町)



旧別府中学校

人事案件



南田 祥作 氏

川辺町田部田

◆人権擁護委員◆
人権擁護委員は、市が議会の意見を求め、法務大臣に推薦します。
任期は、法務大臣が委嘱した日から3年間です。

発議

発議第1号

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、地方税財源の確保を求める意見書の提出について

提出者 吉永賢三

※発議第1号は全会一致で原案可決され、意見書を内閣総理大臣等へ提出しました。

商工業者等へ経営支援、地域経済活動等への支援(コロナ対策)

4,530万円

商工会が実施する飲食・弁当券発行事業に要する経費を補助するもの。

2,000円で4,000円分の食事ができて、お得だっチャ!



問 飲食・弁当券の発行時期、内容は。
答 1セットが1枚500円の8枚綴り(4,000円分)を2,000円で販売。8,000セット発行予定で1世帯5セットまで購入できる。11月に販売を行い、2月までの使用期限を想定している。

問 取扱店はどうなるのか。
答 本年5月発行の弁当引換時は、40店舗であったが、7月から店内で利用できるように拡充したことで71店舗に増えた。今回も商工会員に限らず募集を行う。



プレミアム率100%!
飲食・弁当券発行事業

農業・畜産業振興関係の補助(コロナ対策)

1億1,714万円

さつまいも流通改善支援事業補助

焼酎用さつまいもの栽培面積が減少し、でん粉用のさつまいもへ用途変更・出荷を余儀なくされることで、大幅な減収が見込まれる生産農家に対し、キロ当たりの単価差の30パーセントを補助するもの。



サツマイモの収穫

茶工場の直接経費一部補助

燃料費相当額の一部を、茶工場の経営面積に応じ助成。

法人、個人関係なく南九州市茶業振興会に所属する荒茶工場で、経営者が本市に住所を有し、補助金受領後も本市において茶工場業を継続して行うものを対象とする。

肉用牛肥育農家経営対策事業補助金など

悪性家畜伝染病の発生予防と蔓延防止対策として、消毒資材等の購入に係る経費の一部補助。畜種を問わず、10万円を上限として8割を補助する。

市民の声を行政に問う

一般質問 14人が登壇

議会会議録はこちらで見ることができます。

- ◎地区公民館
- ◎市立図書館
- ◎南九州市ホームページ

見出しの下に動画視聴のための QR コードを掲載しています。スマートフォン等で QR コードを読み取ると一般質問の録画映像がご覧いただけます。

入会林野整備事業

進捗状況と今後の方針を問う

市長／これまでどおり適正な許可業務を行う



西 次雄 議員

市道及び農道の路側に繁茂した雑草の対応は
市長／市道は計画的に除去、農道は受益者等において

西 入会林野整備事業の進捗状況と今後の方針を問う。

市長 平成28年4月から市で権限移譲を受け、29年度から耕地林務課内に入会林野整備係を新設し、

穎娃1組合、知覧1組合、川辺9組合が令和元年度までに全ての業務を完了している。

現在、係は廃止したが、昨年新たに川辺地域の2組合が設立され、業務を進めている。

今後、これもこれまでどおり適正な許可業務を行う。



西 市道及び農道の路側に土砂が堆積し、雑草が繁茂することにより、道路

幅が狭くなっている箇所がある。人口減や高齢化等で管理が困難になっているが、対応を問う。

市長 市道については、路側に堆積した土砂等で通行に支障が生じた箇所は、市で計画的に除去を行い安全確保に努める。

また、農道の補修については、砂利及び生コン等では、申請に応じ支給し、災害等の被災箇所は市で対応している。

通常の管理は受益者等で多面的機能支払交付金事業などを活用して農道の管理をお願いしている。

漁港管理

加治佐川からの土砂や流木の対応策を問う



市長／漁港の管理者である県に随時要望していく



米満 孝二 議員

けて、漂着物を確認し、漁業環境の安全確保のため、市でなるべく早く除去を行っている。

米満 加治佐川に砂防ダムの建設を県に要望する考えはないか。

市長 砂防ダムは土石流危険渓流に設置される。二級河川は土石流危険渓流に指定されていないため、加治佐川の砂防ダムの建設は困難であると思われる。

その他の質問

・鹿児島国体の延期に伴う競技施設の維持管理等

・ヤンバルトサカヤスデに対する薬剤散布



松久保 正毅 議員

二級河川 永里川

早急な寄洲除去を

市長／県へ要望していく



自治会も増えている。

市の所有するトラクターモア(草刈機)を活用して計画的に河川の整備を行う考えはないか。

市長 河川愛護作業は、河川を大切にし、安全、快適に利用できるよう自治会の皆様方に協力をお願いしている。

高齢化が進む中、地域の皆様には無理のない範囲で作業をお願いしたい。

消防団員の定数見直し

市長／再編計画を推進し、定数見直しにも考慮する

松久保 永里川流域は7月の大雨で越水寸前まで水位が上がった。寄洲に葦や竹などが繁茂し、水流を阻害して危険な状況にある。早急な寄洲除去を県に要望する考えはないか。

市長 市内の二級河川は、県が市の要望を基に寄洲の堆積状況を確認し、緊急性の高い箇所から順次除去している。地元からの要望等を基に現地調査を行い、県に要望していく。

松久保 高齢化が進み、河川愛護作業が出来ない



水位が上昇した永里川

広域消防組合の消防職員、消防機材等が充実している中、定数見直しの考えはないか。

市長 消防団員の確保に苦慮されている状況は認識している。

消防団再編計画を推進し、定数見直しも考慮していく。

米満 穎娃漁港の大川港は、加治佐川の河口にあり、大雨や台風等によって大量の土砂や流木が流入する。県に撤去を要望している考えはないか。



大川港に流れ着いた流木等

コロナPCR検査

医療、福祉現場、保育所・学童などで働く市民への検査補助を



市長／県や南薩医師会と連携し、必要な支援を考える



大倉野 由美子 議員

防を市民へ啓発する。
大倉野 コロナ禍で、中小業者をはじめ、市民の暮らしはますます大変になる。地域経済の立て直しのために市の財政調整基金などを活用し、支援する考えはないか。

大倉野 新型コロナウイルス感染症は早期発見と防疫に繋がるPCR検査体制の拡大が求められる。医療、福祉、消防署、保育所など人との密を避けられない職場の希望者に検査費用の補助はできないか。

市長 PCR検査は、県、南薩医師会とともに検査可能な地域の医療機関を一つでも増やすことを検討している。

今後、インフルエンザ等を含めた検査の体制強化と併せて、コロナ感染症予



PCR 唾液採取

大倉野 本市の燃やすごみ減量化の現状と取組みを問う。
市長 ごみの排出は増加傾向にある。3R運動などの燃やすごみを排出しない取組みを推進する。

大倉野 新広域ごみ処理施設の建設予定地の高橋地区では反対の声がある。
市長 市長はこの声をどのように受け止めたか。

市長 高橋の住民から、直接要請を受けた。4市の組合議会で建設地は決めたものであるが、地域住民の不安を解消するため丁寧な説明に努めるものと認識している。

日置 自転車購入の平均額は、平均4万円前後である。
教育長 平均4万円前後である。

日置 遠距離を通学し、危険を伴う自転車通学生が、他の生徒よりも金銭的負担が大きい。現在1万円である自転車の購入補助を見直す考えは。

市長 バス通学と比べて金銭負担に差がある。市長へのメッセージでも意見が寄せられていた。よく調査し、次年度には考えていきたい。

その他の質問
・新型コロナウイルス感染症対策
・GIGAスクール構想



自転車通学生の事故を受け、本年7月に合同点検を行った三差路（川辺町永田）

地籍図

名義人記載の進捗状況は



市長／記載方法など調整中



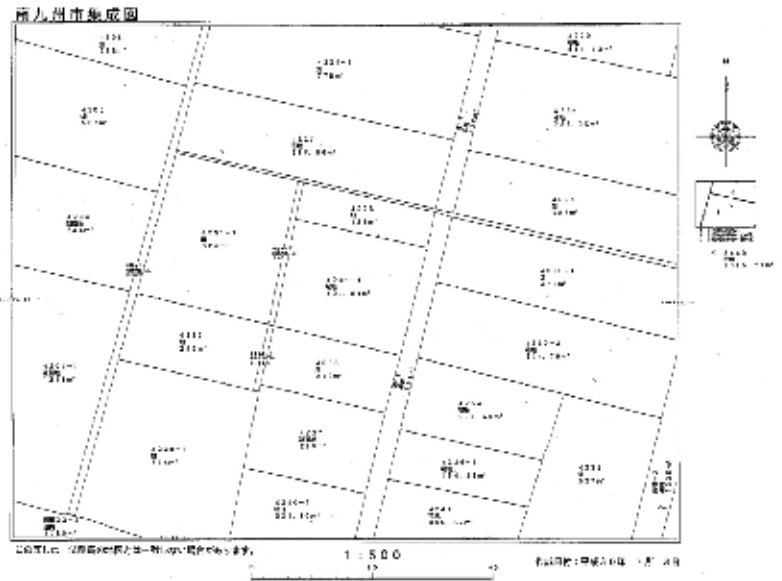
竹迫 毅 議員

を行っており、もうしばらく時間をいただきたい。
竹迫 枕崎市では面積の小さい土地は、〇〇氏

竹迫 平成30年6月定例会で地籍図に登記名義人の記載をしてはとの一般質問に対して、31年（令和元年11月に更新したいとの答弁をしているが、進捗状況を問う。

市長 令和元年11月の地籍管理システム更新に合わせて記載したいと答弁している。

地籍管理システムのバージョンアップは、予定どおり行ったが、登記名義人の記載は、共有者名義となっている土地、狭小な土地の記載方法などの調整



地目と地積を記載した地籍図

か10名などと記載している。また、面積の広い土地は、名義人全員を記載している。
隣接市を参考に、より良いサービスを提供してはどうか。

市長 技術的な面もあるが、加工・調整し、年度内に記載できるように取り組む。

通学路の整備・通学方法

通学路点検の実施状況は



市長／平成27年以降の状況をHP等で公表する



日置 友幸 議員

日置 通学路の合同点検について、実施箇所と改善箇所の状況は。

市長 平成27年以降、延べ40カ所を点検し、29カ所が改善され、11カ所が事業実施中もしくは検討中である。

日置 実施状況を市HPで公開の上、保護者に伝えていただきたい。

市長 市民にわかりやすい公表に努めたい。

教育長 各学校を通してPTAに伝えるよう検討したい。

日置 一部地域の保護

農作物

病害虫・有害鳥獣被害への今後の対策は



市長／被害軽減に努める



吉永 賢三 議員

吉永 県内でミカンコミバエの発生が報道されている。市内の被害状況と今後の対応を問う。

市長 ミカンコミバエは、8月17日現在18市町村で合計84頭誘殺が確認され、本市は8月11日に雄の成虫1頭の誘殺を確認している。

翌12日には、国の対応マニュアルに準じてトラップによる調査を開始し、テックス板設置による防除対策をしている。5回調査を実施したが、新たな誘殺は確認されていない。



ミカンコミバエのトラップ調査

今後は、侵入警戒対策として、トラップ調査を来年5月まで継続していく。新たな誘殺が確認された場合、テックス板を増設し防除対策を行う計画である。

吉永 農作物の鳥獣被害が増えている。本市の捕獲実績と今後の対策を問う。

市長 捕獲実績は、イノ

その他の質問
・河川愛護作業

災害対策

河川や急傾斜地に近い避難所を見直す考えは



市長／災害の種類により選択している



取違 博文 議員

取違 市内67カ所の指定避難所のうち、河川や急傾斜地に近い避難所を見直す考えはないか。

市長 開設する避難所は、災害の種類により選択している。

しかし、近年の災害の大規模化や新型コロナウイルス感染症などを考慮することが重要と捉え、検討すべき課題と考える。

取違 自主防災組織の活動状況を問う。

市長 222組織が結成され、それぞれが年間計画による防火、防災訓



練に取り組んでいる。自主防災組織のリーダーを対象に防災知識の普及啓発と防災意識高揚の学習活動を実施している。

取違 自主防災組織と関係機関との連携はどのように行っているのか。

市長 民生委員や自治会長の協力により、本人承諾のもと要支援者名簿を作成し、消防署及び警

察署へ情報提供することで災害時の避難支援に備えている。

今後の茶業活性化策は

市長／健全な茶業経営と力強い産地づくりを推進していく

取違

お茶価格の低迷と新型コロナウイルス感染症の影響により、茶農家の経営が圧迫されているが、今後の茶業活性化策を問う。

市長 令和2年度の1番茶・2番茶の生産額は対前年比74パーセントと過去に例のない厳しい状況であった。来以降も継続して生産活動ができるよう6月補正で生産者に、9月補正で茶工場の経営継続に対する支援を行う。

今後の活性化策としてSNS等による知覧茶の情報拡散など「新しい生活様式」の実践を意識した取り組みを進めていく。

その他の質問
・サツマイモ生産農家に対する支援策
・河川対策

市長

大規模災害に伴い大量の災害廃棄物が発生した場合、ごみ焼却場へ直接搬入すると混雑を招く恐れがあるため、市が設置する仮置場へ搬入し、品目毎に場所を区分して、無料で搬入するよう計画している。

また、災害廃棄物の撤去・収集・運搬及び処分については、専門業者等との協定締結が必要と考えている。

その他の質問

・河川内の障害物除去

災害対応

災害復旧への取組みは



市長／迅速かつ適切な復旧に努める



上赤 秀人 議員

上赤 農地及び農業用施設の災害対応を問う。

市長 国の公共災害への申請要件は、降雨量が時間20ミリ以上、24時間80ミリ以上であること、工事復旧費用が1カ所あたり40万円以上あること、施設の場合は受益戸数が2戸以上あることなどが対象である。

しかし、要件を満たしていても、維持管理不良が要因となるものは対象外である。

また、要件に該当しない公共性の高い農業用施設



氾濫した高取川



高取海岸清掃

種苗法

種苗法に伴う本市の農作物への影響は



市長／在来種・一般品種は今後も自家増殖できる



内園 知恵子 議員

特にさつまいもについては、ほとんど在来種や一般品種で、今後も自由に自家増殖でき、農家への影響はないと考える。

小人数学級の推進は
教育長／国に対し要望している

内園 コロナ禍のもとでの学校のあり方として、身体的な距離の確保等、子ども一人ひとりを大切に小人数学級を推進する考えはないか。

教育長 小人数学級は、子どもたち一人ひとりに目の届いた学習指導や、きめ細やかな生徒指導が期待できる。本市も国に対し、さらなる通常学級の小人数化を要望している。

その他の質問
・新型コロナウイルス感染症対策

内園 種苗法改正案は、農家の自家増殖を制限する等の課題があり、農業を基幹産業とする本市において影響が大きいと考える。市としての見解を問う。

市長 種苗の「知的財産権」が強化される一方で、農家の次期作用の種苗として利用する「自家増殖」が制限されるのではとの心配もある。しかし、今回の改正は、登録品種の海外流出の防止と、育成者の権利を保護するための見直しである。



授業の様子（霜出小）

まちづくり

本市の魅力を発信する施策を問う



市長／移住定住情報の内容充実にも努める



大倉野 忠浩 議員

市長 市民自ら本市の魅力を発信するための市民向けの写真撮影・SNS講座を開催している。移住希望者にそれぞれの段階で、様々な支援が行えるようホームページでお試し居住や求人情報等の内容の充実にも努めている。

地方創生臨時交付金

市長／使途に応じた計画を策定し、9月補正で予算計上

大倉野 どのような事業が実施され、どのような成果が見込まれるか。

市長 衛生環境・空調設備の整備、マスク・消毒液等の確保による感染防止対応、また、各種補助金・助成金により法人や個人事業主の事業継続、雇用維持が図られる。

大倉野

全国812市区を対象にした「住みよさランキング」の結果を分析し、今後のまちづくりに活かしていく考えはないか。

市長 2020年の本市の総合評価は、全体で429位にランキングされている。結果については、市総合戦略の効果検証を行うための指標の一つに設定するなど「まちづくり」に活用している。

大倉野 移住希望者に対する本市の魅力を発信するための新たな施策を問う。



市民向けの写真撮影・SNS講座

農業振興

新規就農者へのさらなる支援策を



市長／育成、確保に努める



西山 一 議員

め役となって、集落営農化や法人化を推進していく考えはないか。

市長 これまでも県をはじめ関係機関と連携しながら、農業法人を志す農家を対象に研修や相談会を毎年開催している。今後、集落営農及び法人化等の相談に対しては、関係機関と連携して設立支援を行い、組織の育成・強化に努めていきたい。



研修生の活動状況

移住定住促進対策

ライフスタイルの変化を機に新たな施策を



市長／人口減少の抑制に有効な制度を検討する



蔵元 慎一 議員

活や働き方を考え直す人が増え、地方移住への動きが広まっている。

政府は、地方創生の「まち・ひと・しごと創生基本方針」において、東京一極

集中の是正、地方への移住推進、分散型社会の実現を掲げている。このような状況を捉え、本市も転入者を呼び込むため、移住定住促進対策補助金制度を見直し、子育て世帯への加算や転入世帯への賃貸住宅家賃助成の新設等を検討していく。

その他の質問

・高齢者の運転免許証自主返納への支援

蔵元 本市の移住定住に係る現状は。
市長 移住定住促進対策補助金の交付は、過去5年の平均で年間当たり新築64件、中古住宅13件、リフォーム5件の利用となっており、中古住宅への利用は減少傾向である。
蔵元 新型コロナウイルス感染症により、ライフスタイルの大きな変化を余儀なくされている。この状況を機に移住定住の新たな施策を講じる考えはないか。
市長 コロナ禍の中、生



移住定住促進の新たな施策を

災害対策

防災マニュアルの見直しは



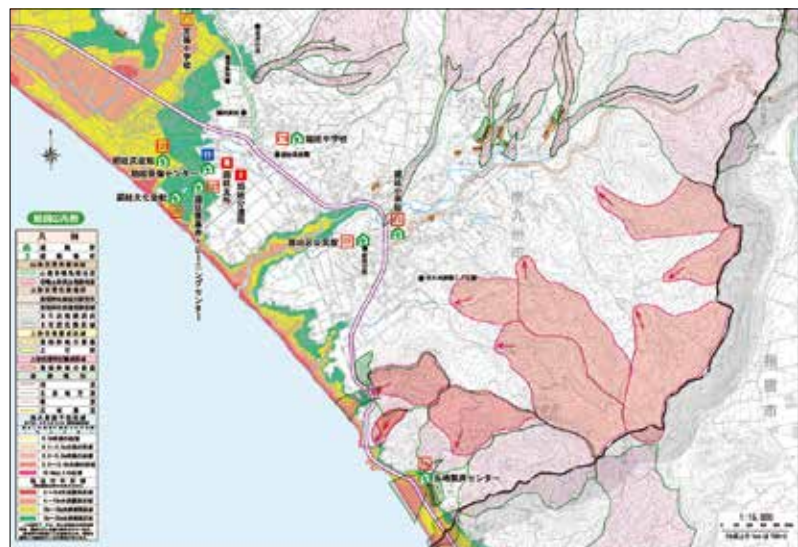
市長／ハザードマップの見直しを行う



浜田 茂久 議員

のための体制構築を問う。
市長 コロナ禍における避難の情報提供を行うており、今後も、国の対策等を注視しながら避難所

確保、装備品の充実を図り、市民の安心安全の確保を行う。
浜田 災害に対する危機意識の低下防止と維持を図るための取組みを問う。
市長 自主防災組織による訓練、出前講座やリダー研修、災害に対する備え、防災知識の普及啓発など防災意識の高揚を図る取組みを継続的に行う。



ハザードマップ

訃報



大久保 太智 議員

大久保太智議員が令和2年9月6日にご逝去されました。

一昨年10月、突然の病が発覚してからも病と闘い、地域のため、子どもたちのため、南九州市の未来のためにご尽力してこられました。

心よりご冥福をお祈りいたしますとともに謹んで哀悼の意を捧げます。

南九州市議会議員一同



次の議会は
12月8日(火)開会予定

12月定例会

12月8日	本会議（開会）	補正予算等質疑・委員会付託、一般質問
9日	本会議	一般質問
10日	本会議	一般質問
11日	常任委員会	補正予算等審査
22日	本会議（閉会）	補正予算等採決

◆議会中継◆ ライブ中継は市ホームページまたは各支所ロビーでご覧いただけます。録画中継は、議会当日の3日後くらいから配信となります。

令和元年度 決算認定

令和最初の決算審査！

一般会計歳出総額 228億1255万円

〈特別会計決算状況〉

区 分	歳 入	歳 出
国民健康保険	58億740万円	57億6708万円
後期高齢者医療	5億4168万円	5億4055万円
介護保険	53億4931万円	52億4148万円
農業集落排水	7234万円	6643万円
公共下水道	1億5454万円	1億3172万円

〈企業会計決算状況〉

水 道 事 業	歳 入	歳 出
収益的収支	6億7505万円	6億3131万円
資本的収支	1億3173万円	4億6900万円



ジェネリック医薬品

問 本市の一人当たりの医療費が県平均より2万3千円程度高い要因は何か。
答 被保険者の高齢化と、医療技術の高度化に伴う高額医療費の申請者数の増加等が原因と考える。
問 ジェネリック医薬品の利用による改善効果はあったのか。
答 普及率は、令和2年4月で89%の高い率となっており、医療費削減への効果が現れている。

特別会計

国民健康保険事業

後期高齢者医療

本市の一人当たりの医療費は122万9千円で対前年比1.7%増となっており、県及び全国平均より高い状況にある。

介護保険事業



問 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるための今後の具体的な取組みは。
答 買い物支援を課題に協議してきたが、無償の互助活動では難しいとの結果が出た。今後は、モデル地区を設定し、有償ボランティアの活用など、仕組みづくりについて検討を進める。

公共下水道事業

問 今後も知覧新町地区の戸数増が見込まれるが、知覧中央浄化センターの処理能力で対応できるか。
答 現在45%程度の稼働状況で、今後の人口増加にも十分対応可能である。

農業集落排水事業

問 知覧垂水の未接続の約10%はどういう状況か。
答 施設整備以前に合併浄化槽へ変更した世帯や高額工事費を支払ったの接続を望んでいない高齢世帯などである。

令和元年度事業における接続状況
 川辺東部 99・45%
 知覧垂水 90・87%
 知覧瀬世上 100%

水道事業

問 本事業は、給水と供給バランスの悪化により赤字状態だが、解消に向けた今後の対策は。
答 管の老朽化による維持管理費に多額の費用を要している。業務改善に努めているが安心安全な飲料水供給のためには、料金改定による健全経営が必要と考える。

委員会から

○赤字が解消されない場合は、水道料金の値上げはやむを得ないが、市民に対して現状を周知し、理解を求めるなど早めの対応を図っていただきたい。
 ○安易な値上げではなく国等の財源措置を求めるなど、住民負担が増えない解決策を模索していただきたい。

〈一般会計決算状況〉

歳入総額	232億6069万円
歳出総額	228億1255万円
不納欠損額	1387万円
収入未済額	5億1868万円
次年度繰越額	4億3288万円
実質収支	4億867万円

総務費
 戸籍住民基本台帳費 1884万円
 戸籍・住民基本台帳事務に係る経費。
問 マイナンバーカードの交付率と今後の取り組みは。
答 12・92%。8月から毎月第2日曜日を開庁し申請受付している。

一般会計

ふるさと寄附金事業費 9億7604万円
 寄附に係る事務と返礼品を送付する経費。
問 返礼品や企業の選定、新規開発等の取組みは。
答 地場産品・材料が南九州市産・加工地が南九州市であることが基準である。

民生費

温泉センター管理費 7458万円
 市営4温泉センターの施設管理に係る経費。
問 今後の施設のあり方は。
答 南九州市温泉施設のあり方検討委員会の提言を踏まえ、知覧温泉センターは3年間延長する予定である。



農林水産業費

台風等被害園芸作物緊急支援対策事業費 38万円
 被害発生時に農業経営の早期再開を図るための支援を行う経費。

問 この支援は個人・法人経営を対象としたのか。
答 法人の方々は各種事業における補助事業等が充実していることから対象外とした。

問 トラクターモアの稼働状況は。
答 市道については定期的に、河川については年2回河川愛護作業をする自治会の2回目の支援作業として稼働している。モアは重量があるので、重量に耐えうる堤防でないと使用できない。

首都圏における知覧茶ブランド力強化対策事業費 3708万円
 知名度向上、商品開発など多角化戦略による地域活力創出に係る経費。

問 サプリメント制作と商品化の時期は。
答 カテキンが多い秋冬番茶を使い制作し、道の駅やAコープ等の店頭販売を11月頃から予定している。



河川愛護作業

土木費

土木総務費（一般経費） 3255万円
 河川総務費（一般経費） 934万円
 道路愛護作業や河川愛護作業等に係る経費。

教育費

閉校施設管理費 1176万円
 閉校となった小中学校の跡地活用が決定するまでの管理を行う経費。

問 閉校した教室のエアコンの利活用は。
答 各小中学校の普通教室には全てエアコンが整備されている。使用可能な機器については設置されていない音楽室等の特別教室に利活用している。

総括

委員会から
 公共施設については多くの施設が経年劣化により修繕が執行されている。財政状況が厳しいことから、施設の今後の在り方を見極め、検討していただきたい。

市議会議員 の繰上当選

当選人

鮫島 信行氏



大久保太智議員の死去に伴い、議員に欠員が生じました。

公職選挙法では、市議会議員の欠員が選挙の期日から3カ月経過後に生じた場合、選挙執行時の選挙会において、得票数が同じ候補者でくじの結果、当選人とならなかつたものがあるときは、議員が欠員になった旨の通知を受けた日から20日以内に繰上補充の選挙会を開き、当選人を定めなければならぬとなっています。

9月16日に選挙会が開かれ、鮫島信行氏が繰上当選されました。

構成委員がかわりました

議会運営委員会

議会の運営、議会の会議規則、委員会条例などに関する事項について調査・審査を行います。



蔵元 慎一
竹迫 毅
米満 孝二

◎太倉野 忠浩
◎吉永 賢三
◎松久保 正毅
◎委員長 今吉 賢二
◎副委員長

文教厚生常任委員会

福祉や介護、保険、教育などに関する事項について調査・審査を行います。



西山 一
鮫島 信行

◎浜田 茂久
◎太倉野 忠浩
◎蔵元 慎一
◎委員長 内園 知恵子
◎副委員長

編集後記

北海道では、大雪山に初雪が確認され秋と冬が見え隠れしているようです。どんなにも美しい光景かと想像するところです。温暖化の中でも自然は、確実に季節というサイクルを廻しています。

人間社会では新型コロナウイルス感染症で「特別な夏」という一生で経験したことのない季節を過ごしました。このままでは「特別なお正月!!」これだけは避けたいです。

延期された東京オリンピック、パラリンピックでは、世界中の人のマスクなしの笑顔と声援を期待しています。

そして2023年に開催される鹿児島国体に向けて、今はマスクとソーシャルディスタンスで乗り切りたいと思います。

(取違)

▼広報編集委員会

委員長 米満 孝二
副委員長 内園知恵子
委員 西山 一
取違 博文
上赤 秀人
山下つきみ



◎発行：鹿児島県南九州市議会

◎編集：議会広報編集委員会

◎発行責任者：加治佐 民生

TEL 0993(83)2511

FAX 0993(83)4658

ホームページ <http://www.city.minamikyushu.lg.jp>